

大阪市麻しん情報

～医療機関の皆様へ～

現在、日本は麻しんの「排除状態」にあると認定されています。しかし麻しん流行国で感染し、帰国後発症して国内で感染を伝播させる輸入事例が、現在も報告されています。

大阪市をはじめ、全国各自治体では確定診断としてウイルス遺伝子検査(PCR検査)を行っています。麻しんと臨床診断された医療機関様におかれましては、PCR検査の検体として咽頭ぬぐい液・血液・尿の3種(少なくとも2種以上)を確保していただいたうえ、管轄する保健福祉センターに届出をいただきますようお願いいたします。

検体採取方法などについて、下記のリーフレットに記載していますのでご参照ください。

また、届出基準について下記リンク先に掲載しておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

★医療機関向けリーフレットはこちら (「麻しん」「風しん」診断時の対応について)

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/cmsfiles/contents/0000005/5758/masin-fusin-iryoukikan.pdf>

★届出基準・様式はこちら (五類感染症の届出基準・届出様式)

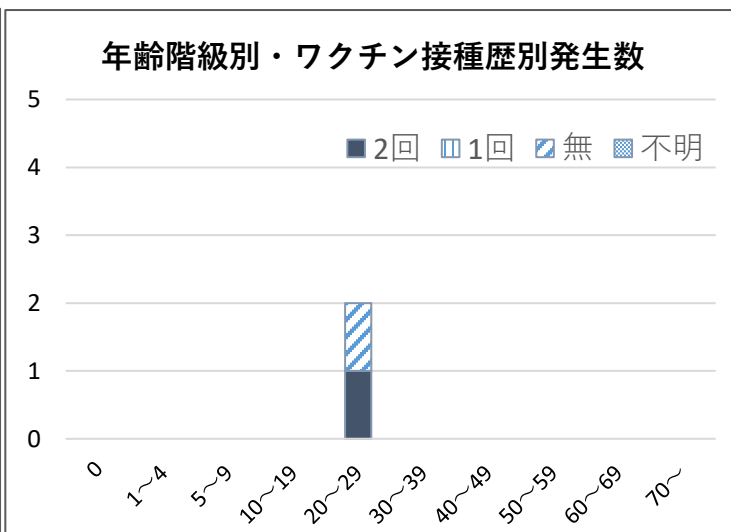
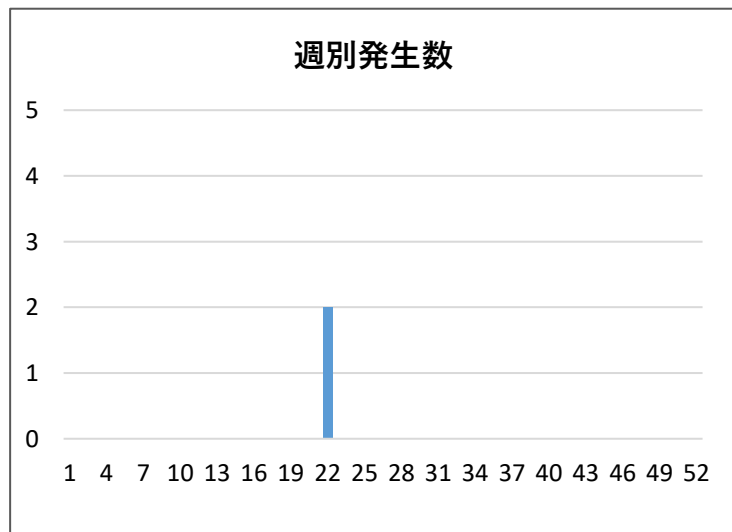
<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000014279.html#5-23>

▼2023年24週の麻しん患者発生の概要

発生はありませんでした。

▼2023年の麻しん患者発生の概要(累積数)

番号	診断週	年代	性別	発症日	遺伝子型別	ワクチン接種歴	推定感染源
1	22	20歳代	女	5月20日	未実施	2回	不明
2	22	20歳代	女	5月23日	未実施	無	不明



▼参考情報

年別発生状況

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年(※)
大阪市	63	1	0	0	2
全国	744	10	6	6	18

(※)発行日時時点の集計であり、今後変更が生じることがあります。

★麻しん(はしか)に注意しましょう

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000005758.html>